

九月定例県議会は、七日に開会し、三十日まで二十四日間の日程で開かれました。日本共産党岡山県議会は、森脇ひさき県議が一般質問に、武田英夫県議が討論に立ちました。詳細は、ホームページをご覧ください。



森脇県議は、新型インフルエンザ対策について、「急激な感染拡大を防止し、医療機関の混乱を防ぐには、県民に正確でわかりやすい情報を迅速に伝え、正しい対応を呼びかけることが必要だ」とし、「感染症情報センターのホームページを立ち上げてはどうか」と質問しました。
石井知事は「新たにホームページを立ち上げた」と答弁しました。

森脇ひさき県議の質問項目

- ① 県政の緊急課題
 - (1) 局地的な豪雨への対策
 - (2) 新型インフルエンザ対策
- ② 総選挙で寄せられた県民要求から
 - (1) 雇用対策
 - (2) 社会保障
 - (3) 子育て支援
 - (4) 農業
- ③ 県政の無駄遣い問題
 - (1) 倉敷チボリ公園
 - (2) 足守川パイプライン計画
 - (3) 住宅供給公社と吉備高原都市問題

子どもの医療費無料制度の年齢拡大を

子育て支援への子どもの医療費無料化について、森脇県議は「県内の四割の市町村ですでに中学生も無料の制度ができ、就学前の無料化は全市町村で実施されている。これには県制度の拡充が大きな役割を果たしている」と指摘、子育て世代への家計応援の一環として、医療費公費負担制度対象年齢の拡大を求めました。

石井知事は「対象年齢の拡充は、重点的に取り組んでまいりたい」と言明しました。

県政の巨額な無駄遣い問題の総括を

ある総括が必要だと追及しました。これに対し、石井知事は、「最善をつくした」と答えるにとどまりました。

日米FTA交渉の中止を国に求めよ

総選挙に関連し、「日米FTA（自由貿易協定）締結されれば食料自給率は十二％まで落ち込む」との指摘に、石井知事は「計り知れない影響がある。必要な提案をしたい」という認識を示しました。



新型インフルエンザ対策を急げ

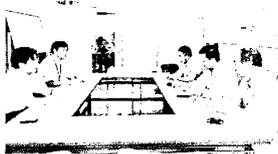
— 森脇ひさき県議が一般質問 —

森脇県議は、この間県政の無駄遣い問題として注目されている三つの事業（①経営破たんして閉園となった「倉敷チボリ公園」、②八月に、中国四国農政局が取りやめも含めて見直すことを表明した足守川パイプライン計画、③多額の借金をかかえ解散する見通しとなった住宅供給公社とその最大の要因となった吉備高原都市開発）について、それぞれ県としての責任

安東市長(左)から説明を聞く県議団



8月11日 第一回目の現地調査 (写真・上)



8月18日 第二回目の現地調査 (写真・中)



8月31日 第三回目の現地調査 (写真・下)

9月4日 県に申し入れ (写真・裏面に掲載)

衆院選で圧勝した民主党 県議会では1人も質問に立たず

九月議会は、先の衆議院選挙で民主党が圧勝し政権交代がおこなわれるなかでの開催となりました。民主党県議の動向が注目されましたが、民主県民クラブからは代表質問、一般質問を通じて三名が質問に立ったものの、四人いる民主党の議員は一人も質問に登壇しませんでした。

活動日誌(その2)

7月3日

新型インフルエンザについて勉強するために、県環境衛生センター(岡山市内尾)へ



8月13日

現局面で求められる雇用対策についての申し入れ



住宅供給公社(吉備高原開発)問題で、県自治体問題研究所に調査研究を委託

今後の議会での論戦に活用するために、政務調査費を活用して委託した研究の成果がまとまりました(写真・左)。

県議団のホームページに全文掲載しています。



高校教育の公私格差拡大の是正を

武田英夫県議が討論

討論に立った武田県議は、「新おかやま夢づくりプラン・改訂版」の議案について、県民の切実な要求に基づくものも多く含まれていることを評価しつつ、①「道州制・中四国州」についての扱いが拙速に過ぎること、②いったん削除された「正規雇用」の文言を復活させたことは評価するが、認識の根本が間違っていることを指摘し、「反対」を表明しました。

岡山県私学助成をすすめる会が提出した「高校教育無償化導入において、父母負担の公私格差の解消が配慮されることを求める陳情」について、武田県議は「鳩山新政権の方針で行けば、公立高校の授業料年間十一万八千八百円は無料、私立の五十四万円には十二万円の補助で、結果として公立はゼロ円、私立は四十二万円の高負担となり、



美作市の豪雨被害対策に奮闘

赤坂てる子県議

美作市は竜巻被害に続き、豪雨災害により大変な被害を受けました。一階の壁が落ち、家の中の家財道具はすべてだめになっています。田畑も砂利まじりの土が埋めています。ガードレールは折れ曲がり...ゲリラ豪雨のおそろしさ、あまりにひどい被害に言葉もありませんでした。

県議団として、美作市の被災地へ入り、地元市議とともに県への申し入れを重ねてきました。私も県議会生活環境保健福祉委員会、災害救助法の最大限の活用、被災住宅の被害調査の徹底と県として独自に被害住宅への支援を求めてきました。また、土石流危険渓流や、地滑り危険箇所との調査と対応、障害者医療費助成制度など県のかかわる医療制度の減免を行うなどを求めて

公私格差はいっそう深刻になる。こうした公私格差の拡大を是正することが陳情の趣旨であり、県議会として応えるのが当然と考える」として「採択」するよう求めました。議員発議の「私学助成の意見書」に関しては、民主党は「私学助成の国庫補助制度の堅持に問題あり」とのことだが、私学助成は国会で問題になっている「ひも付き補助金」とは全く性格を異にし、むしろ憲法と教育基本法に基づいて「国が責任を果たすべき教育水準を維持するためのもの」であることを指摘し「採択」を主張しました。同じく「予算執行を求める意見書」についても、政府は「地方向けは停止しない」としているが、国からの文書では凍結に至る不安は解消されておらず、予断は許されないと賛成しました。

今回、美作市が、国の生活再建支援法の対象外の半壊世帯に対して竜巻被害住宅支援と同じく百五十万円を限度の助成策を決めたことにたいして、県として百十戸分、三分の一の補助を予算化しました。平成十六年の高潮被害では床上浸水に十萬円の支援金だけでしたが、今回初めて半壊世帯へ県が支援することとなります。

ただ床上浸水家屋への支援策はなく、県民局の再編や市町村合併などによる初動体制や支援体制への影響がどうだったかなどの検証も必要です。傷痕はまだ癒えていません。台風シーズンであり二次被害が心配されます。生活再建支援とともに災害復旧が急がれます。



県議団として、党美作市議団とともに県に申し入れ(9月4日)

主な議案と請願・陳情の結果

【議案・発議】	共産	自民	民衆	公明	結果
新おかやま夢づくりプランの変更について	×	○	○	○	○
私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書(案) 提出者：総務委員会委員長	○	○	×	○	○
私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書(案) 提出者：民主県民クラブ	×	×	○	×	×
地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書(案) 提出者：総務委員会委員長	○	○	×	○	○

※ ○賛成、×反対

9月定例県議会は、知事提案の23議案と議員発議4件を原案通り可決しました。わが党は1つの議案に反対、22議案に賛成。議員発議5件に対しては4件に賛成。

【請願・陳情】	共産	自民	民衆	公明	結果
高校教育無償化導入において、父母負担の公私格差の解消が配慮されることを求めることについて(岡山県私学助成をすすめる会)	○	△	△	○	△

※ ○採択、△継続

2009年10～12月の議会日程(予定)

委員会の積極的な視聴を

開催日	委員会	時間	出席	開催日	委員会	時間	出席
10月15日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員	11月24日(火)	議会運営委員会	10時30分～	武田
10月22日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員		決算特別委員会	10時30分～	武田
11月13日(金)	各常任委員会	10時30分～	全員		行財政改革・道州制等特別委員会	10時30分～	森脇
11月19日(木)	各常任委員会	10時30分～	全員	12月14日(月)	子ども応援特別委員会	10時30分～	赤坂
	決算特別委員会	10時30分～	武田		地域振興・国際世代特別委員会	13時～	
	行財政改革・道州制等特別委員会	10時30分～	森脇		文化振興・環境対策等特別委員会	13時～	
11月20日(金)	子ども応援特別委員会	10時30分～	赤坂	12月15日(火)	各常任委員会	10時30分～	全員
	地域振興・国際世代特別委員会	13時～		12月17日(木)	議会運営委員会	10時30分～	武田
	文化振興・環境対策等特別委員会	13時～					

12月定例県議会は、11月30日開会、12月18日開会の予定。代表質問は3・4日、一般質問は8・9・10日(11日は予備日)の予定。日本共産党からは、武田英夫県議が一般質問、赤坂てる子県議が討論に立つ予定です。なお、請願・陳情の受付締め切りは12月2日です。